

科目名 動物資源生産学特論(二) (2単位)

担当者氏名 橋詰良一、亀山 祐一

◆学習・教育目標

新規動物資源の開発、多様な環境に配慮した資源生産の拡大、動物資源機能の新しい応用などについて我が国をはじめ、中国、東南アジアの動物バイオテクノロジーを用いた研究開発の現状や最新の話題、課題について論述し、動物資源の将来について考察できる力を養う。また、動物と法、食肉処理施設、食における生命倫理の3つのテーマを通して、動物資源と私たちの生活の関わりに対する観点を養うことを本講義の目標とする。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

生殖工学	人工授精	受精卵移植	配偶子操作
我が国の家畜発生工学	中国、東南アジアの発生工学	動物と法	生命倫理

◆授業の進行等について（単位制度に基づく授業の進行予定・内容）

回数	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1～8回	我が国の動物資源の新たな開発と可能性 (橋詰 良一)	我が国の既存の家畜・家禽はもとより、海外、特に中国、東南アジア地域における未利用ではあるが有望な動物資源とみなされる動物種について育種・繁殖及び発生工学の専門的観点から項単位にその開発、利用について講義する。 新規動物資源の開発について野生動物を利用した新たな動物産業の構築や、従来、本邦では未利用であった動物資源の導入と可能性について論述する。	動物バイオテクノロジーが開発する新たな動物資源の可能性を探る
9～15回	動物資源と私たちの生活 (亀山 祐一)	動物と法、食肉処理施設、食における生命倫理の3つのテーマを通して、動物資源と私たちの生活の関わりに対する観点を養う。具体的には各テーマに対して2日ずつ授業があり、講義の後で自分自身の考えをまとめたレポートを作成する。	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

講義資料を配布する

◆評価の方法（レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト）

出席レポートで評価する

◆その他受講上の注意事項
